

## 『社会言語科学』特集論文の募集のお知らせ

学会誌編集委員では、「特集・日本語と韓国語・朝鮮語をめぐって」の論文を募集しています。特集に投稿された論文は、通常の投稿論文と同じく、査読を経て掲載が決定されます。原稿の種類、原稿の書き方、投稿のしかた、投稿先などは、通常の論文の場合と同じです。投稿に際し、「特集」のための論文であることを明記してください。

論文投稿の期間 : 随時

論文の投稿先 : 学会誌編集委員会委員長 日比谷潤子

E-mail: jhibiya@icu.ac.jp

Fax 0422-34-6983

〒181-8585 三鷹市大沢 3-10-2 国際基督教大学語学科

お問い合わせ : 学会誌編集委員会委員長 日比谷潤子

---

### 特集 日本語と韓国語・朝鮮語をめぐって

近年、日本と韓国の人的往来は数的に増え続けているだけでなく、往来する人々の職業・目的も多様化している。韓国での日本語学習者が非常に多いことは周知の事実であるが、最近では日本での韓国語・朝鮮語学習者も急激に増えている。このような流れの中で、日本と韓国の人々が接触し、コミュニケーションをとる機会が日常的に起こりうる状況になってきた。このような状況のもと、最近ではコミュニケーションという観点から日本語と韓国語・朝鮮語を比較対照しようとする研究が増えてきている。具体的には、謝罪や感謝などの言語行動を扱ったものや待遇法、さらには身振りなど非言語行動を扱ったものなどがある。

また、人的往来の増加に伴い日本で居住する韓国人も増えており、在日コリアンの中でもいわゆるオールドカマーとニューカマーの言語使用状況などについても、少しずつ研究がなされるようになってきている。

このように現在の日本においては、日本語と韓国語・朝鮮語をめぐって、様々な社会言語科学的テーマが存在し、研究も盛んになりつつある。実際に、学会誌『社会言語科学』への投稿を見ても、日本語と韓国語・朝鮮語に関わる研究はかなり多く見られる。日本語母語話者と韓国語・朝鮮語母語話者が円滑なコミュニケーションを行うために、あるいは在日外国人の生活を考える上で、これらの研究はさらに活発になされなければならないと考える。

この特集は、日本語と韓国語・朝鮮語に関する社会言語科学的な研究について、その研究の現状を把握するとともに、さらにそれらの研究が進展するきっかけを作ろうとするものである。この特集でさまざまな研究が紹介されることは、日本語教育や韓国語・朝鮮語教育の世界に影響を与えるだけでなく、社会言語科学的な対照研究のありかたやその研究方法に関しても有益な示唆を与えることとなる。

この特集で考えられるテーマを列挙すると、以下のようなものが考えられる。

言語行動 (感謝, 謝罪, ほめ, 断り, 依頼, あいさつ, あいづち, など) / 非言語行動 (身振りなど) / 待遇法 (敬語)・呼称など / コミュニケーション・ストラテジー / 在日コリアンの言語 / 言語政策

上記以外にも、テーマはありうるであろう。社会と言語という観点から、日本語と韓国語・朝鮮語に関わる問題を扱ったものであれば、この特集に掲載することが可能である。社会言語科学の分野で日本語と韓国語・朝鮮語の特集が組まれることは、これが最初であろう。皆さんの積極的な投稿をお願いしたい。

(注) 韓国語・朝鮮語に関しては、様々な言語名が使われている。言語名については、投稿者の意向に従う。  
(イシュー・エディター 生越直樹・任栄哲)